

まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所

2021年11月30日(火)

12月19日(日)

観覧無料



鈴木康広(1979年浜松市生まれ)は、日常の見慣れた事象に新鮮な切り口を与える作品によって、ものの見方や世界の捉え方を問いかける活動を続けています。《まばたきの葉》《まばたき証明写真》《自然を測るメトロノーム》など、鈴木の代表作が当館のエントランスホールに登場します。なかでも、2010年の静岡市美術館開館時に展示された《まばたきの葉》は、オープンしたばかりの美術館と市民をつなげてくれた、当館にとっても思い出深い作品です。

本企画は、開館10周年にあたる昨年度に開催予定でしたが、折しも新型コロナウイルスの感染拡大により延期となっていました。10年ぶりの《まばたきの葉》の展示により、美術館に集う人それぞれの「10年」や「時間」、「記憶」を考える場となる予定でした。延期となったこの1年+αという時間のなかで、日々の生活だけでなく、美術館をとりまく状況も大きく変わりました。均一に流れていると思われる時間も、捉え方や感じ方はひとりひとりであり、そこには多様な視点が存在しています。不確かな時間に身を置く今、鈴木の作品を通して過去／現在／未来の新しい関係性に思いを巡らせる機会となるでしょう。

■開催概要■

会期: 2021年11月30日(火) - 12月19日(日)

開館時間: 10:00 - 19:00 ※12月5日(日)、12日(日)、18日(土) (いずれも14-17時) ほか、他イベント開催時は「まばたきの葉」にご参加頂けません。

休館日: 毎週月曜日

会場: 静岡市美術館 エントランスホール

主催: 静岡市美術館 指定管理者 (公財) 静岡市文化振興財団 **観覧無料**

■関連イベント: アーティストトーク

12月19日(日) 14:00-15:00

会場: 当館多目的室 定員: 50名 参加料: 無料
申込不要、先着順(当日10:30より整理券配布)

■鈴木康広(すずき・やすひろ)



1979年静岡県浜松市生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒業。主な個展に浜松市美術館(2011年)、水戸芸術館(2014年)、箱根彫刻の森美術館(2017年)など。第4回モスクワビエンナーレ(2011年)をはじめ、国内外のグループ展にも多数参加。パブリックスペースのコミッションワーク、大学の研究機関や企業とのコラボレーションにも取り組んでいる。静岡市美術館では2010年に「鈴木康広 まばたきの葉」を開催(5/2 ~ 6/13)。浜松市教育文化奨励賞(2011年)、2014毎日デザイン賞(2015年)受賞。現在、武蔵野美術大学教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員。



まばたきの葉 (2010年静岡市美術館での展示)



自針と分針 2009



まばたきの時計 2003



まばたき証明写真 2011



自然を測るメトロノーム 2017

「鈴木康広 まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所」

広報用写真申込書 Fax:054-273-1518 Mail:info@shizubi.jp

静岡市美術館 写真貸出担当:大庭・岡田 Tel:054-273-1515

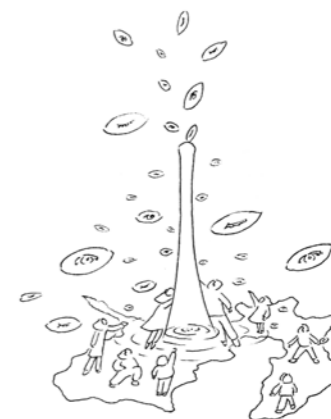
「鈴木康広 まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所」の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号、もしくはEメールでお申込みください。



1



2



3



4

ご希望の画像番号に○をお付けください

- 画像クレジット
- クレジット不要(展覧会チラシ)
 - まばたきの葉 2003 (2010年静岡市美術館での展示) photo:Katsuhiro Ichikawa
 - まばたきの葉
 - photo:Masako Nakagawa

御社名 _____ (ご担当者名)

貴媒体・番組名 _____ 掲載予定日 _____

〒 _____

ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

備考 _____

広報用写真の使用に関するお願いとご注意

- *1 作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。部分使用やトリミングされる場合は事前に確認をさせていただきます。
- *2 ご使用の際は、必ずクレジットを明記してください。
- *3 作品の画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご容赦願います。
- *4 デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段についてはメール送信となります。
- *5 ご掲載紙・誌を1部御寄贈いただけますようお願いいたします。

【プレスリリースのお問い合わせ】 担当:伊藤 広報担当:大庭、岡田